

今を大切に

小学三年 馬場 望

「やっと、みんなと一緒に運動会ができる。」

これは、私が待ちに待った運動会で思ったことです。新型コロナウイルスが流行したので、入学後の行事のほとんどが中止になったり、学年別で行われたりしました。だから、全学年で行われた今年の運動会は、私にとって初めてで、とてもうれしかったです。

運動会前日は、ひょうが降って大変でしたが、多くの人の支えにより、無事に当日をむかえることができました。校庭には、競技を行う私達生徒と応えんするお父様、お母様でいっぱいになり、みんなの顔はキラキラと輝いていました。私がリレーに参加した時は、応えんの拍手をおくってくれたので、いつもよりも力を出すことができました。

私は、入学式や運動会などの行事は、当たり前に行われるものだと思っていました。しかし、この感染症がひろまったことで当たり前のことができなくなるという、悲しい経験を沢山しました。

このような経験をしたことで、今まで当たり前だと思っていたふつうの生活がとうといものであり、私は多くの人に支えられている

ということに気が付きました。そして、親らん様が、明日何が起ころか分からないので、「今」を大切にしましょうと、教えてくださったことを思い出し、次の二つのことに気をつけようと思いました。

一つ目は、当たり前前のことを当たり前前にできることに感謝しながら、「今」を一生けん命に生きるということでした。

二つ目は、私を支えてくれている人にも感謝をすることです。支えてくれる人がいるからこそ、私は、当たり前前の生活を送ることができるとです。

私達がより良く生きるためには、この二つのことを心がけることが大切だと思います。